第 1.0 版（2026 年 8 月 27 日作成）

信州大学医学部附属病院 臨床検査部に 通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ 当部における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「膵癌における腫瘍免疫状態および線維化機構を介した腫瘍微小環境の予後への影響に関する研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	膵癌における腫瘍免疫状態および線維化機構を介した腫瘍微小環境の予後への影響に関する研究
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院 臨床検査部
研究責任者(職名)	中嶋 智之（主任臨床検査技師）
研究実施期間	医学部長による許可日～2031 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	膵癌組織における免疫状態および線維化に関連する分子の発現と局在を調べ、臨床病理学的特徴や予後との関係を明らかにします。将来の膵癌の予後予測や治療法開発に役立つ基礎的知見を得ることを目的とします。
対象となる方	2010 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに、信州大学医学部附属病院で膵癌に対する外科的切除を受けた 20 歳以上の方（術前化学療法または放射線療法を受けた方を含みます）
利用する診療記録（利用する場合のみ）／検体	診療目的で採取・保存された外科切除ホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）組織、年齢、性別、腫瘍部位、組織型、分化度、腫瘍径、TNM 分類・病期、リンパ節転移、脈管侵襲、神経侵襲、切除断端、術前・術後治療、再発、転帰、生存期間、血算、生化学検査値、腫瘍マーカー（CA19-9、CEA、DUPAN-2、Span-1）
研究方法	公開されている遺伝子発現データから候補分子を選び、保存 FFPE 組織を用いた mRNA in situ hybridization（mRNA ISH：組織中の mRNA を検出する方法）および免疫組織化学（IHC：組織中のタンパク質を検出する方法）により、免疫・線維化関連分子の発現量、発現する細胞および組織内の位置を調べます。これらと臨床病理学的特徴、再発および予後との関係を解析します。院内症例の NGS データは利用せず、新たな RNA シークエンスも行いません。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	中嶋 智之（信州大学医学部附属病院 臨床検査部・主任臨床検査技師） 電話：0263-37-2801 電子メール：tnakajima@shinshu-u.ac.jp

公開先：https://shinshu.bvits.com/rinri/publish.aspx（信州大学医学部）

：https://i-chuken.shinshu-univ2.net/category/optout/（臨床検査部）

既存の外科切除 FFPE 組織、診療記録および検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察、検査または検体採取の必要はありません。

本研究では、氏名や診療録番号など、患者様を直接特定できる個人情報を解析用データに含めません。また、当院外へ試料・情報を提供する予定はありません。

研究に必要な試料・情報のみを利用します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご本人の試料・診療記録等を利用することをご了解いただけない場合は、ご本人、ご家族または代理人から上記問い合わせ先までご連絡ください。また、ご不明な点についてもお問い合わせください。

研究不参加を申し出られた場合でも、診療上その他の不利益を受けることはありません。ただし、
利用拒否の申し出をいただいた時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料・情報から個人との対応が失われている場合などには、研究結果を廃棄できず、引き続き利用させていただくことがあります。